

第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に保管し、服用の際には必ずお読みください。



漢方製剤 JPS 漢方顆粒-24号

小柴胡湯は脇腹からみぞおちのあたりが苦しく、食欲不振や口の苦味がある方はきけ、胃炎、疲労感、かぜの後期の諸症状などを改善します。胸部から腹部にかけての炎症を鎮め、はきけを抑える働きがあります。

本剤は漢方処方である小柴胡湯の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい顆粒剤としました。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4) 高齢者。
- (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。むくみ
- (7) 次の診断を受けた人。肝臓病、高血圧、心臓病、腎臓病
- (8) インターフェロン製剤で治療を受けている人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位(かぜの後期の諸症状)に服用する場合には1週間位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

〔効能・効果〕

体力中等度で、ときに脇腹（腹）からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の諸症：食欲不振、はきけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状

〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	1 包	3 回
7 才以上 15 才未満	2/3包	
4 才以上 7 才未満	1/2包	
2 才以上 4 才未満	1/3包	
2 才未満	1/4包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1 才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3) 食間とは食後 2～3 時間を指します。

〔成分・分量〕

3包(6.0g)中

小柴胡湯エキス(4/5量)3.44gを含有しています。

日局サ イ コ …… 5.6 g	日局ハ ン ゲ …… 4.0 g
日局ショウキョウ …… 0.8 g	日局オ ウ ゴ ン …… 2.4 g
日局タ イ ソ ウ …… 2.4 g	日局ニ ン ジ ン …… 2.4 g
日局カ ン ゾ ウ …… 1.6 g	

上記生薬量に相当します

添加物として、ショ糖脂肪酸エステル、ステアリン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤は吸湿しやすいので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返してテープ等で封をし、なるべく1日以内に服用してください。(開封状態で置いておくと顆粒が変色することがあります。変色した場合は、服用しないでください。)
- (5) 本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがあります。効能・効果には変わりありません。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店
あるいは下記にお願いいたします。
ジェービーエス製薬 お客様相談室
電 話 045-593-2136
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェービーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22